

# ホテルアスティくろひめ

Hotel Asty Kurohime  
(長野県上水内郡信濃町)



外観

年始のスキー温泉取材の第3弾は、ホテルアスティくろひめである。

本日は快晴の中、赤倉観光リゾートスキー場と赤倉温泉スキー場を滑りまくった。朝一番の滑走は、フラットになった柔らかいバーンを暴走。しかし、雪が柔らかいため、すぐに斜面はボコボコになり、15:00には足が疲れ果てた。

通常なら、赤倉温泉にある日帰り入浴施設に行くところだが、今回はわざわざ黒姫高原まで移動し、ホテルアスティくろひめへやってきた。浴室からの眺望が最高に良いという噂を聞いたからだ。しかも、ホテルなのに入浴料が500円と安い

ホテルアスティくろひめはほぼゲレンデの中にあるので、ゲレンデへのアクセスも最高に良い。まるでゲレンデに飛び込むかのような高い位置から滑走を開始できるのである。

1階のフロントで入浴料を支払い、3階の浴室へ向かう。脱衣室では脱いだものは籠に入れるが、無料の貴重品ロッカーも用意されている。早速浴室へ。

正面の大きな窓ガラスから見えるのは、妙高山とその山麓の4つのスキー場だ。手前から妙高杉の原、池の平温泉、赤倉観光リゾート、赤倉温泉だ。そして、窓からちょっと左側を覗き込めば、黒姫山とその山麓にあるスキー場・くろひめスノーパークが見える。

スケールの大きい大眺望を前に、スキーの疲れが一気に取れることであろう。また、特にくろひめスノーパークのコース構成が手に取るように見えるので、今日はこのコースを滑ってどうだったとか、仲間とスキー談義をするのにももってこいだ。

洗い場は10か所。シャンプー、ボディーソープ、固形石鹸は完備している。加えて、2箇所に高級品の馬油のシャンプー、トリートメント、ボディーシャンプーが用意されてい

る。

浴槽の湯温はやや熱め。左側から注水され、右側から排水されるので、左が最も熱く、右が最もぬるい。取材した日は、左側に河童のような風貌の若者が陣取っていた。私はぬるめが好きなので右側へ行き、隣にある水風呂から水を汲み入れて好きな温度にした。この位置なら、ぬるくしてもだれにも迷惑をかけないであろう。

眺望にばかり気を取られていたが、浴室は石貼を基調とした落ち着いた色の内装になっており、浴槽の周辺の床は温泉の成分で見事に変色している。

サウナは室内温度が 94℃、定員は 6 人ほど。このサウナの優れているところは、やはり妙高山と黒姫山の眺望があることだ。

ちなみにホテルアスティくろひめの湯は含硫黄ナトリウム・カルシウム塩化物・硫酸塩温泉（硫化水素型・中性低張性高温泉）で、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進、慢性皮膚病、虚弱児童、慢性婦人病、きりきず、やけど、糖尿病、高血圧病、動脈硬化症に効くという。

スキー場の温泉はスキー場が見えるところがいい。そんなスキーヤーの純粋な気持ちを見事に具現化した風呂に惜しみない称賛を贈りたい。

- **名称**：ホテルアスティくろひめ
- **所在地**：長野県上水内郡信濃町黒姫高原 3884-298
- **電話**：026-255-3181
- **営業時間**：10：00～11：00（宿泊者優先につき要確認）
- **定休日**：無休
- **通常入浴料**：500 円
- **サウナ**：あり
- **サウナ内のテレビ**：なし
- **取材日**：2014 年 1 月 3 日（金）
- **取材**：銭湯愛好会・東京支部